

職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	貴重な体験	事務局	503
学校名	酒田市立第二中学校	氏名	今田 希愛

9月25日、9月26日の2日間、私は北新橋保育園へ職場体験に行きました。初めて行く場所なので、緊張や不安なことがたくさんありました。ちゃんと子供たちと楽しく接していけるのか、先生の手伝いをし、こなせるか、そんな気持ちでいっぱいでした。保育園の中に入ると、先生のみなさんが笑顔でまてくださり、とても嬉しかったです。1日目、私は、0~1歳児の子たちの担当になりました。私はもと上の歳の子を担当すると思っていたので、とても驚きました。あまり話せない子が多く、コミュニケーションがとれないため、いったいこの子は何が言いたいのか、何をしたいのかがよく分からず、困ってしまうことがとてもありました。室内で遊ぶと遊んでいほ中、私はどこにも行けばよいか分からず、あたる、たしていています。そんな時に、園庭で遊ぶことになり、少し安心しました。外に出る前に、靴を履かなければならぬ時に、先生から、「〇〇ちゃん自分で履けないから、手伝ってくれる？」と言われたため、手伝いをし、向かいました。自分で靴を履くのはとても簡単なことなのに、他の子に靴を履かせるのはとても難しいことだと思いました。履けたと思っても、さかどが、出ていたり、いざ動かすと、スポッとずり、靴が脱げてしまったりなど、あまりうまくできませんでした。外に出ると、たくさんの遊具があり、とても素敵でした。遊ぶことになると、みんな一斉に遊具へ向かい、遊ぶ始めました。ですが、まだ完全に歩ける子が少なくなかったので、転んだり、遊具から落ちてけがをしないかと心配になり、し、かり周りを見て、落ちそうな子はいないか、見守りました。みんなが笑顔で遊んでいる姿を見て、とても癒されました。園庭で遊ぶ時間も終わり、昼ご飯の時間になりました。メニューは野菜のた、ぶり入ったうどんでした。私は子どもたちの食べ物やフォーク、スプーンの持ち方などが、正しくなっているか、し、かり確認しながら見守っていました。おかわりする子も多く、いい食、ぶりでした。ご飯も食、べ終え、お昼寝の時間となり、みんなでお布団の準備をしました。子どもたちを寝かし始めた途端、一気に疲れがのしかかってきました。

子どもたちの世話をしている時は何も感じなかった。それでも不思議でした。私が実際に体験した事以外でも、おむつ替え、着替え、ご飯を食わせたリなど、もっとお仕事があり、それを全てこなしてしまう先生方だけでも尊敬しました。このお仕事を毎日していると考えると、とても体力を使うなと思いました。

職場体験2日目、2日目は午後のみんなを担当することになりました。この日も天気が良かったため園庭で遊ぶことになり、外へ向かいました。1日目の時とは異なり、活発な子が多く、年中さんも年長さんもいました。人数がかなり多くなり、遊んで欲しいと言う子がとても多かったです。子どもたちとおにごっこをしたり、ブランコもこいであげたりなど、様々なことをして遊びました。昼ご飯の時間になり、ランチルームへお弁当を持って向かいました。「いしょに食べよう」とたくさんの子からさきわれて嬉しい気持ちでいっぱいでした。お昼ご飯の後に読み聞かせや自己紹介などをして、お昼寝の時間になりました。みんなが寝ている間に先生に質問をしました。私は「この仕事をしていてやりがいを感じるのはなんでですか」と聞いて、「子どもたちの笑顔が見れたこと」と言っていました。私も子どもたちと遊んでいる時、笑顔で次々と遊ぶと言ってくれてとても嬉しかったのを覚えています。自分と一緒に居てくれると、より嬉しい気持ちでいっぱいでした。子どもたちが笑顔で過ごしているのは、その子の親や保育士さんのおかげだなと思います。私は、職場体験という貴重な体験をさせていただいて、保育士になりたいと思いました。職場体験で学んだことを活かして、わたがらの将来にうながしていきたいです。